

川で注意することは？

▶ 淵や岩場は危険

淵は、想像以上に深さがあり複雑な流れや渦が発生しています。岩場の水中部分は水の力でえぐられてくぼんでおり、流れが速くなっています。

▶ 急な増水に注意

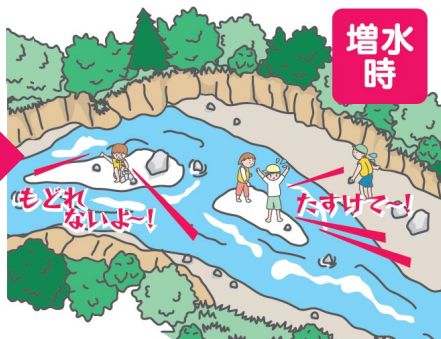
河原は、増水の際は川底になります。特に中州にいと、増水したら取り残されてしまいます！

「川の防災情報」等を活用し、常に天候や水位には気を配りましょう。その場で雨が降っていない場合でも、上流で雨が降っている場合は増水の危険があります。すぐに遊ぶのをやめて河川から離れた場所に移動しましょう。

平常
水位



増水
時



かわ ぼうさいじょうほう
川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>

きしょうじょうほう
気象情報

<https://tenki.jp/>

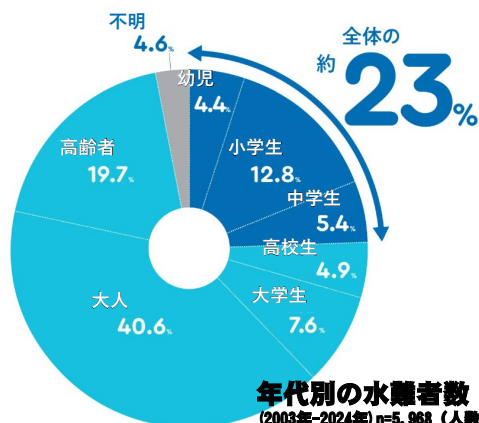


▶ 子どもから目を離さない

【河川等での中学生以下の水難者数は全体の約1/4】

一人での行動中に川に転落すると、救助の手立てがなく、ちょっとした転落が人的被害につながる場合があります。

大人は常に子どもがどこにいるか把握しておきましょう。



出典：公益財団法人 河川財団

● もしも川に流されてしまったら

おぼれている人を見つけたら

- ① まずは落ち着いて、自分の安全をたしかめよう。助けようと
おもっても、絶対に川に入って助けに行きはいけません
- ① 大声で助けを呼びに行こう
- ① 安全な陸地から長い棒などをさしのべたり、ロープを
投げたり、浮かぶ物(ペットボトルなど)を投げてあげよう

自分がおぼれそうになったら

- ① あわてないで、まずは心を落ち着けよう
- ① 体温を守り体力を残すため、服は脱がない
- ① 頭を上流にしてあおむけで浮くようにして、
力まずに川の流れにまかせよう
- ① つかめるものがあれば、つかもう

ロープを投げる



もしものときは

警察・消防へ

ケータイでも通じます

消防119
警察110